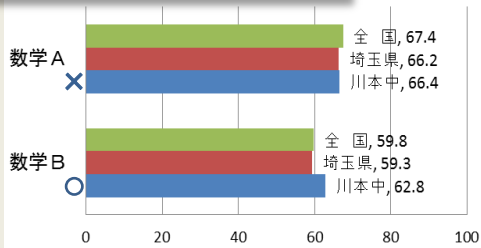
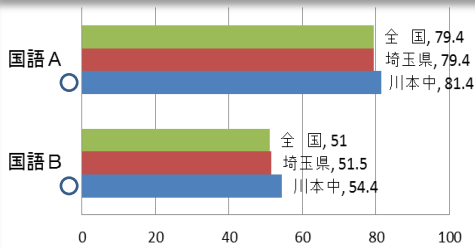


川本中学校における学力向上に向けた取組

【H26年度全国学力・学習状況調査結果】 I 平均正答率



II 生徒質問紙調査結果 (全国平均と本校平均の比較)

- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。(＋39ポイント)
- 国語で自分の考えを書くとき、理由が分かるように書いている。(＋17ポイント)
- 数学で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。(＋13ポイント)
- 家で、学校の復習をしている。(＋18ポイント)
- 自分には、よいところがあると思う。(－2ポイント)
- 学習塾(家庭教師含む)で勉強をしている。(－7ポイント)
- 新聞を読んでいる。(－4ポイント)
- 昼休みや放課後など、学校図書館や地域の図書館に行く。(－5ポイント)

知識、技能の確実な習得
—見えやすい学力—

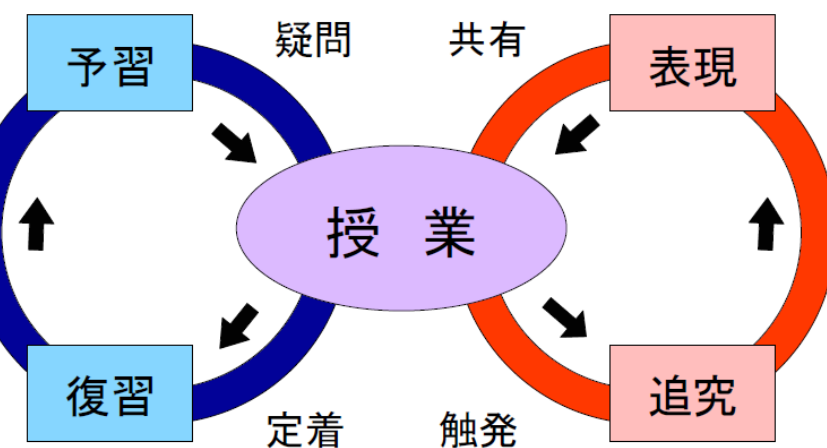
A 問題等への対応

- ・川中漢字検定(毎月)
- ・数学ドリル学習
- ・少人数指導、T・Tの充実
- ・ICTの効果的な活用
- ・英語基礎力向上Writing Noteの活用
- ・放課後・長期休業中補習授業
- ・テスト前学力補充
- ・ステップアップレッスン
- ・市教委「A問題確認プリント」の活用

基礎・基本の
確実な習得

【小・中一貫教育の観点からの取組】

- ・中1ギャップを踏まえた「つなぎ教材」の活用
- ・9年間を見通したカリキュラムの編成と実施
- ・小学校教員による補習授業(夏休み)
- ・小・中一貫生活目標を踏まえた学習規律の重視
- ・小・中合同の授業研究や授業参観の充実
- 指導方法・指導技術の向上、
- ・児童生徒交流による中学校生活への自信の高まり



習得サイクル

探究サイクル

思考力・表現力等の育成
—見えにくい学力—

B 問題等への対応

- ・レポートの作成(理科・社会など)
- ・論述・要約・説明など言語活動の重視
- ・話し合い活動の充実
(ホワイトボードの活用など)
- ・総合的な学習の時間「せせらぎタイム」
における探究学習の重視
- ・市教委「B問題に挑戦」の活用

活用力・自信
・粘り強さの育成

【家庭学習の充実】

- ・家庭学習の習慣化のため、家庭学習の意義や方法を指導し、1日2ページを課題として取り組ませる。
- ・保護者に家庭学習への協力を依頼し、家庭と連携して、計画的・継続的に取り組ませる。

【生徒の学習意欲向上】

- ・家庭学習への励まし・表彰
- ・各学期に学習優秀者の全校表彰「あすなる賞」
- ・「立志式」の取組による自己の目標の明確化
- ・「科学の甲子園ジュニア」や「深谷こころざし科学塾」への積極的参加による理数系への関心の高まり

【教員の指導力・指導技術の向上】

- ・授業研究会への積極的参加
— 埼玉大附属中研究協議会へ2名派遣 —
- ・教科指導に関する研修会への積極的参加
- ・教科部会の活性化による授業力向上
- ・学習指導案の充実—つなぎ教材の明確化—
- ・授業のユニバーサルデザインの充実
- ・自己申告シートにおける課題の明確化 P・D・C・A

本校の実態

本校の取組(基礎・基本と活用力のバランスを重視)